

1年	科目	総合英語A	講義	前期	担当	1-1, 4, 5 村上真理 1-2, 3 藤井数馬
全学科共通		General English A	必修	2履修単位		1-1, 4, 5 MURAKAMI, Mari 1-2, 3 FUJII, Kazuma
授業の概要						
<p>中学3年生までの既習事項を土台にして、4技能を統合した英語力の向上を目指す。授業では、検定教科書の他、音声教材や多読、多聴教材を適宜使用していき、授業理解度は試験で判断する。授業では、教科書の読解、音読、筆写の他、単語テストを定期的に行い、そのテストの結果は成績評定の一部とする。さらに、英語のインプット量が教科書だけでは不足するため、英語多読(多聴)も行っていき、その理解度は試験で評価する。また、英語の相互使用を確保し、学びを深めるために協同学習(ペア学習、グループ学習)も適宜取り入れ、協同的に学ぶ姿勢も英語コミュニケーション能力の一部として養成していくので、積極的な授業参加を求める。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標(プログラム対象科目のみ)						
実践指針(専攻科のみ)						
授業目標						
<p>教科書の英文を読解し、大意を把握できる。 音読や筆写の習慣を身につけ、英語を英語としてとらえることができる。 後期の総合英語Bと1年間を通して、総合的にはTOEIC Bridgeで130点以上の英語力を身につけることができる。 YL 1.0以下の多読教材を、wpm=100程度のスピードで読め、7割以上の理解ができる。 前期中に最低20,000語以上(年間で40,000語以上)の多読を授業内外で計画的に行うことができる。</p>						
授業計画						
第1回	ガイダンス	ガイダンス、English as a Global Language				
第2回	Lesson 1	English as a Global Language				
第3回	Lesson 1	English as a Global Language				
第4回	Lesson 1	English as a Global Language				
第5回	Lesson 1	English as a Global Language				
第6回	Lesson 2	Bread Culture in Japan				
第7回	Lesson 2	Bread Culture in Japan				
第8回	Lesson 2	Bread Culture in Japan				
第9回	Lesson 2	Bread Culture in Japan				
第10回	Lesson 3	Why Do Cats Purr?				
第11回	Lesson 3	Why Do Cats Purr?				
第12回	Lesson 3	Why Do Cats Purr?				
第13回	Lesson 3	Why Do Cats Purr?				
第14回	復習	前期中間試験までの復習				
	前期中間試験					
第15回	テスト返却、Lesson 4	テスト返却、テスト解説、The Power of Anime				
第16回	Lesson 4	The Power of Anime				
第17回	Lesson 4	The Power of Anime				
第18回	Lesson 4	The Power of Anime				
第19回	Lesson 4	The Power of Anime				
第20回	Lesson 5	Projects with a Difference				
第21回	Lesson 5	Projects with a Difference				
第22回	Lesson 5	Projects with a Difference				
第23回	Lesson 5	Projects with a Difference				
第24回	Lesson 6	We Are the World				
第25回	Lesson 6	We Are the World				
第26回	Lesson 6	We Are the World				
第27回	Lesson 6	We Are the World				
第28回	Lesson 6	We Are the World				
第29回	復習	前期末試験までの復習(ワークブック等使用)、夏休みの課題の説明など				
	前期末試験	英語多読試験を含む				
第30回	テスト返却等	テスト返却、テスト解説、夏休みの課題試験と課題チェック、後期に向けての注意等				
評価方法と基準	<p>定期試験(前期中間、前期末)および課題試験、英語多読試験 80% 英語多読ポートフォリオ(読破状況) 5% 小テスト(英単語試験等)10% 平常点(授業態度、提出物等)5% 6割以上の修得で合格とする。</p>					
教科書等	『New One World Communication I』(教育出版)、『New ONE WORLD Communication I WORKBOOK』(教育出版)、『フェイバリット英単語・熟語 コーパス3000』(東京書籍)、『TOEIC Bridge公式ガイド&問題集 新装版』(TOEIC運営委員会)、英語多読多聴用図書、英和辞典					
備考	<p>使用教材は同じであるが、授業担当者が2名いるため、状況(クラス毎の習熟度や、学習意欲・態度の差、授業担当者の授業方針等)によって進度やテスト範囲が異なる場合がある。各授業担当者から指示を受けること。 『TOEIC Bridge公式ガイド&問題集』は、適宜授業内で演習用として使うので、毎時間持参すること。なお、夏休みの課題としても用いることがある。『フェイバリット英単語・熟語 コーパス3000』は授業内小テスト用や夏休み課題用や自習用として使う予定である。なるべく分かりやすい授業を心がけるが、分からない箇所があれば、積極的に質問をすること。 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。</p>					